

外からは見えない”つらい”を  
抱えた親子とつながるため、  
町をあげてみんなで実践する  
アウトリーチ事業

みまたん宅食どうぞ便

事務局 松崎 亮

# 登壇者紹介

みまたん宅食どうぞ便  
事務局

**松崎 亮**

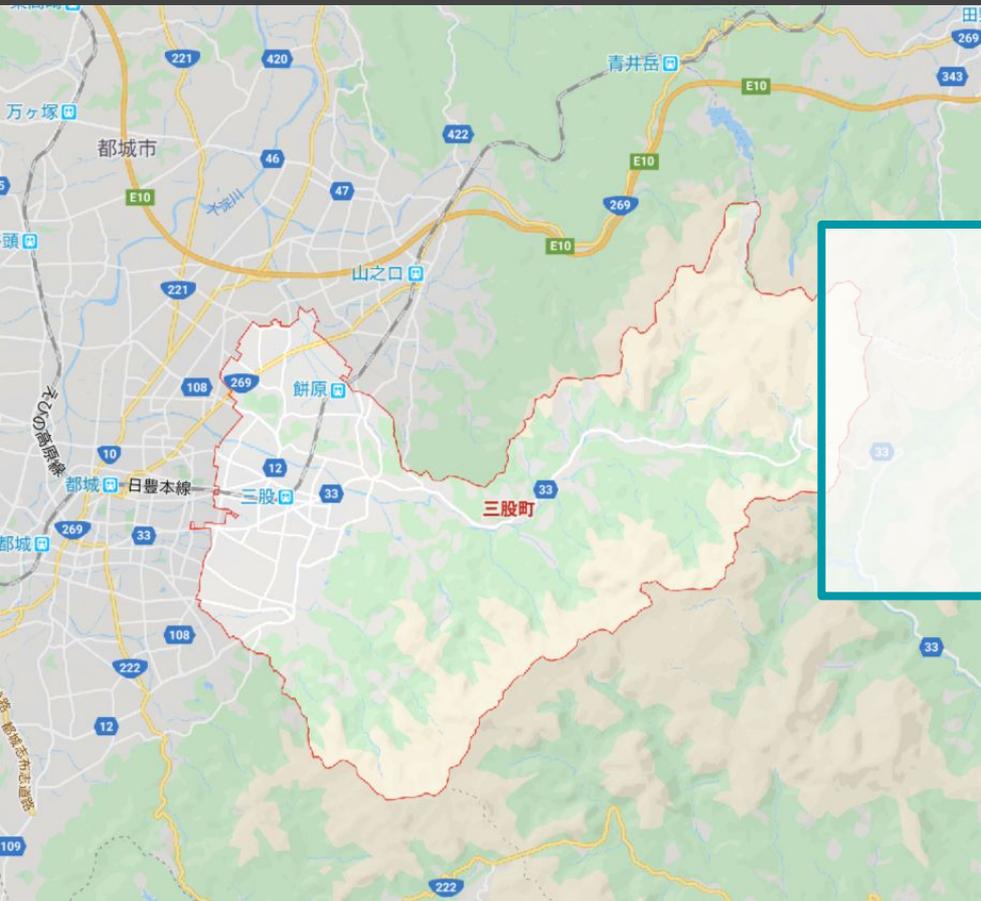
- 三股町社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター
- 社会福祉協議会職員として粛々と経験を積む
- 平成29年10月文京区こども宅食をリサーチ  
平成30年4月から事業開始



# 実施している地域 宮崎県三股町



# 実施している地域 宮崎県三股町



町の人口

2.5万人

面積

110km<sup>2</sup>

# 事業を始めたきっかけ

# 事業につながる3つのキーワード

つらいを抱えた家庭のニーズが分からない

長年アウトリーチを目指していたが・・・

「気兼ねなくどうぞ」の思い

●基本コンセプト **とにかく気軽に利用してほしい。**を、モットーに。

なんだか  
もらいにくい…

うちより大変な人は  
もっといるから…

恥ずかしい…

申し訳ないから…

生活のことで  
誰かに頼りたくない…

そう思わせない魔法の言葉。  
それは…



# たくさんあるから

(たくさんないかもしれないけど)

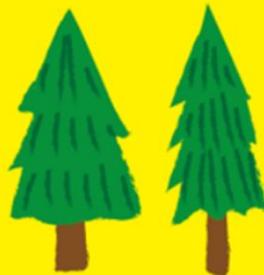
# どうぞ！

+

# 親しみやすい世界観とキャラクター



「みまた」  
どうぞ便  
飯



# 事業の概要

みまたん宅食どうぞ便を一言でいうと...

地域でたくさんあるから

「どうぞ！」と集まった食材を、

”つらい”を抱えた親子に毎月届けて、

緩やかな関係をつくりながら

”つらい”の出口を探すこと

# みまたん宅食どうぞ便ではこんなことをやっていきます。

## 対象世帯

宮崎県三股町で生活に困り感を持っている家庭  
(あくまで自己申告、所得制限などは無し)

## 世帯数

**42** 世帯 (137名/親52名/子85名)

## 配送食品

お米・味噌・野菜など、4-5kg程度

## 配送頻度

毎月第3木曜日 (平成30年度10,380食を配送)

# ヒト、モノ、カネ、こんな風に運営しています。



事務局  
メンバー

4名

三股町**社会福祉協議会**(町社協)の生活支援コーディネーターや相談員が事務局を運営。



配送

17名

社協の**研修を受けたボランティアスタッフ**が担当。「見られたくない」「いきなり相談できない」と考える家庭にも**程よい距離感で慎重に接する**。



連携支援者・  
支援団体

10以上

連携先

無料の学習支援、子ども食堂、町社協内の相談窓口(就労・家計相談・障害・貸付など)や、町福祉課、保健師、福祉事務所、学校など

# ヒト、モノ、カネ、こんな風に運営しています。



年間  
**1-2**t

毎月の配送量は世帯人数に応じて調整  
(例:親1人子ども2家族で、3-4kg/回)



食品寄付  
企業など  
**10**社以上

農業生産法人、食品メーカー、個人農業者、地域住民などが食品を提供。隣町とも連携。



年間  
**50**万円

立上資金:50万円(WEBシステム、フライヤー等)  
運営資金:50万円/年(社福法人拠出金、伝承シール寄付金)

# 事業活動の詳細

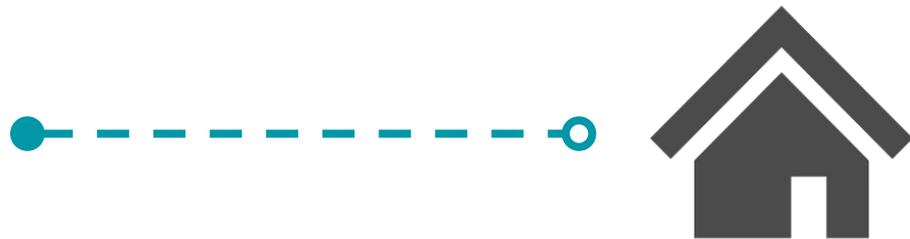
# みまたん宅食どうぞ便の詳細

家庭と  
つながる

食品を  
とどける

支援に  
つなげる

家庭と  
つながる



# 利用家庭との接点の持ち方

## 1 チラシの配布



福祉課窓口  
健康管理センター



社会福祉協議会の施設



保育所  
小学校  
中学校  
スクールソーシャルワーカー



町の保健師  
地域包括支援センター  
個別支援を行う  
ケースワーカー  
障害相談支援事業所

どうぞの精神が漂う町。  
三股町。



どうぞが つながる。  
明日につながる。  
みまたん宅食 どうぞ便。



・みまたん宅食どうぞ便とは・

「生活が大変…」と感じるご家庭に対して定期的に食材をお届けします。三股町にお住いの18歳以下のお子様がいるご家庭であればご利用になれます。

・どうぞ便のしくみ・



mimata-douzo.com



1. 専用アプリが  
インストール  
既製の中心業務から  
配達までの物流の  
食材をトータル  
で提供します。



2. スマホからお申込み  
専用アプリにアクセスし  
お申し込み  
完了  
お申し込み  
完了  
お申し込み  
完了



3. お届け  
毎月(指定日)に専用  
車でトラックタイプ  
がお届けします。

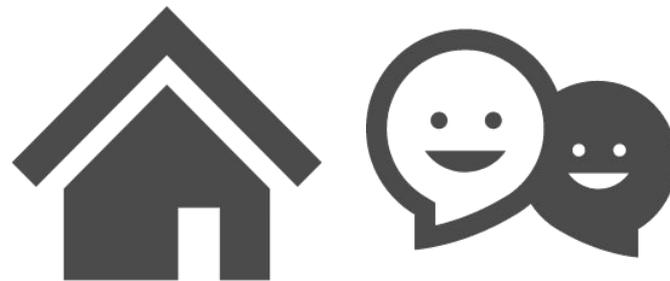
# 利用家庭との接点の持ち方

## 2 Webなどで申し込み

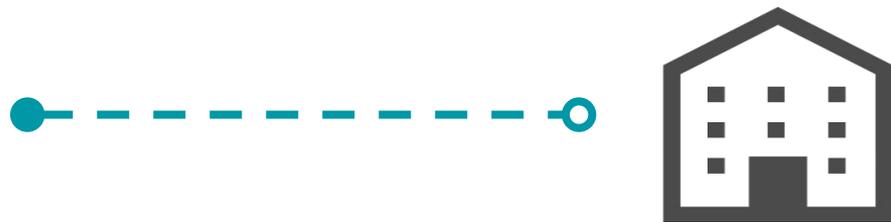


## 3 利用開始前ヒアリング

事務局(社協の相談員)が家庭訪問し、世帯人数など簡単なヒアリングを行う。

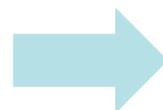


食品を  
とどける



# 食品調達から提供までの流れ

事務局メンバーが宅配日の  
前日・当日に、寄付食品の集  
荷に回り、作業所へ



ボランティアが配送。

配送日当日、町の作業場に  
ボランティアが20名ほど  
集まり、梱包作業

ご家庭に直接お届け。

# 食品調達から提供までの流れ

寄付食品の集荷が宅配前日・当日なので、野菜などの生鮮品もお届け可

①地場の野菜

②お米

③手作り味噌・調味料など

④町内のパン屋提供のパン

調理が苦手な家庭向けの「すぐ作れる」レシピ







Nikon

SAISON DE VENTE

Ziploc

7-11-1997

75

Ziploc

Ziploc

100





9  
3 4 5 6 7  
10 11 12 13 14  
17 18 19 20 21  
24 25 26 27 28

# みまたん宅食どうぞ便の活動の詳細

家庭と  
つながる

食品を  
とどける

支援に  
つなげる

# 「食品提供×アウトリーチ」で取り組む課題

必要な人に情報や支援が届かない理由・背景:

- 当事者個人の**援助要請能力 (help-seeking) の問題**だけではない
- 偏見が生まれやすい環境、使いづらいサービス設計、そもそも必要な情報が当事者に届かない等、**社会や視線者側の問題や課題**

①心理的な障壁



②周囲のまなざし



③物理的な制約

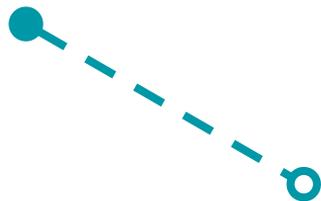


④情報の届け方



# どうぞ便による家庭の課題把握と相談まで

## 1 主要機関が連携し周知



## 2 “申し込みたい”と思える入口

• みまたん宅食どうぞ便の中身はこんな感じ •



+ 毎月食材を活かすレシピ

+ どうぞのやさしさ

お届け日は毎月第3木曜日です。

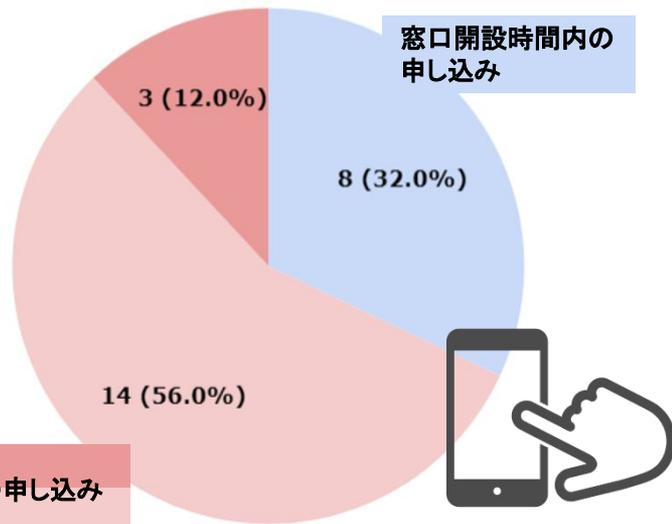
ボランティア  
スタッフが  
お届けします！



# どうぞ便による家庭の課題把握と相談まで

## 3 アクセスのしやすさ

2018年のWEB申込み時間帯



## 4 周囲のまなざしに配慮する



そもそも明るいデザインと、困り感があれば誰もが使えるサービス設計

# どうぞ便による家庭の課題把握と相談まで

## 5 定期的かつ「嬉しい」接点



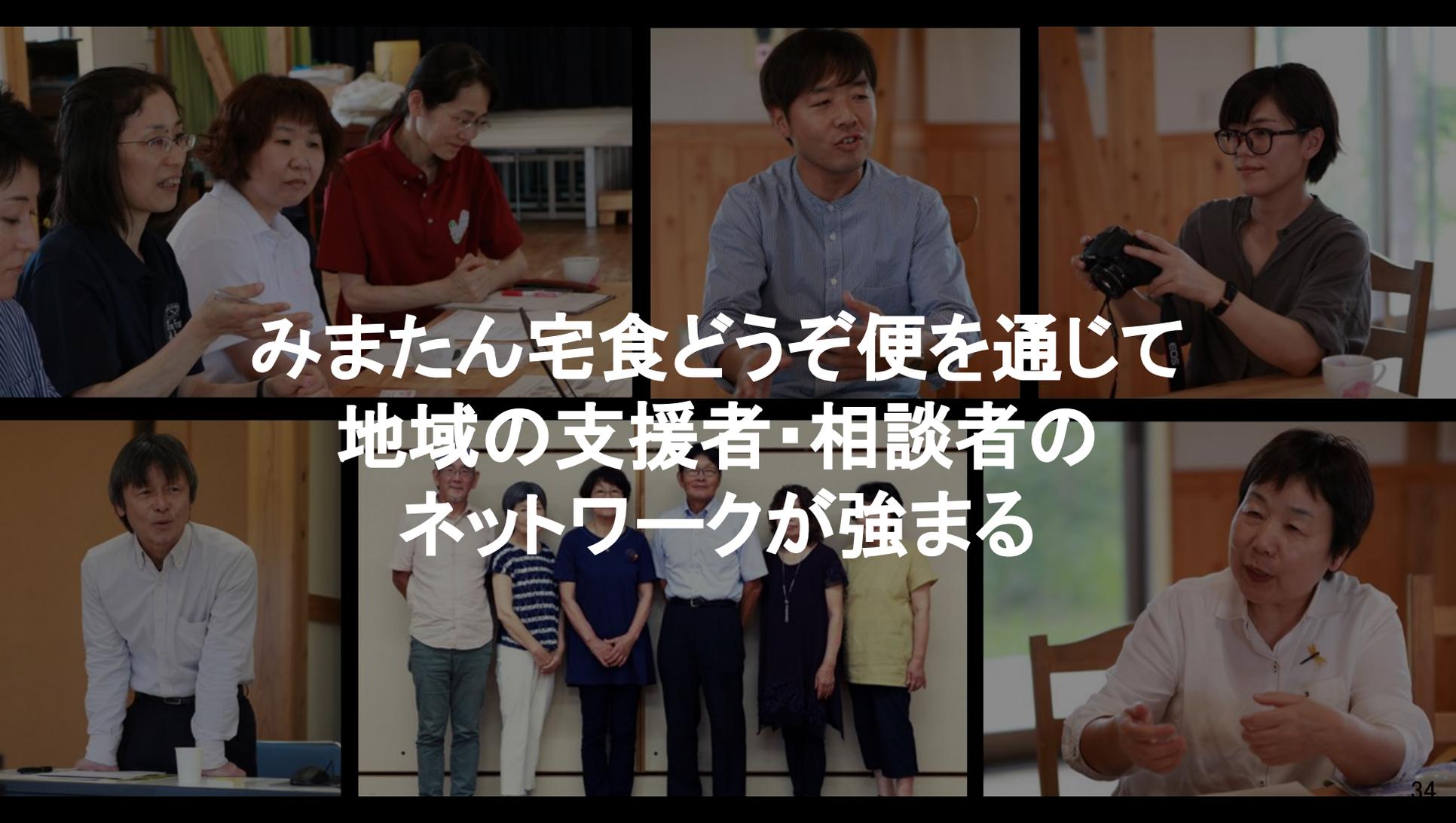
## 6 問題の解決を焦らない



# どうぞ便による家庭の課題把握と相談まで

## 個別の課題に関わったケースの一部

- 不登校
- 調理が苦手で家計が逼迫
- ひらがなが書けないなどの基礎学習の必要な児童
- 金銭管理が苦手
- 掃除ができない
- 学習支援、生活習慣支援が必要なケース
- ひとり親世帯に就労支援



みまたん宅食どうぞ便を通じて  
地域の支援者・相談者の  
ネットワークが強まる

# みまたん宅食どうぞ便と他機関との連携(入口)

## 1. つながる。



民生委員



教育委員会



紙媒体



福祉課



スマホサイト



友人



保健師



WEBサイト



スクール  
ソーシャルワーカー

# みまたん宅食どうぞ便と他機関との連携(届ける)

## 2. 届ける。届けるのは、食材とやさしさ。



# みまたん宅食どうぞ便と他機関との連携(出口)

## 3.

つくる。

ない仕組みはつくってサポート。

### 具体的な個別支援の実績

#### □ 家計管理をサポート



家計や借金などへの不安を抱えている方へ家計相談事業の提案や、状況的に厳しい方には、資金の貸付や金銭管理事業等を活用し多面的にサポート。

#### □ こどもの学習をサポート



経済問題などで、適切な学習の場を用できない世帯のため、こどもの学習支援「森の子学習塾」を設置して学習をサポート。

#### □ 高校進学を多面的にサポート



学習支援、福祉資金の貸付や入学一時金のお手伝いなど、高校進学を目指して多面的にサポート。

#### □ 衣類・制服・自転車等の物資サポート



様々なネットワークを活用して、ライフステージに応じた物資を集めてサポート。

#### □ 宅配日外にも臨時的な食糧サポート



急な出費、病気や事故などにより厳しい状況の世帯には、どうぞ便の宅配日以外でも食糧でサポート。

#### □ 就労サポート



つなぎ就労・就労支援・就学支援など、対象者の性格や状況に応じて個別に支援。看護学生になったお母さんからは「はじめて働くことへの意義を持てた」などの前向きな発言も。

#### □ 不登校問題もサポート



不登校の原因は人それぞれ、こどもの性格に応じた数名の「訪問支援アドバイザー」を派遣。多様な価値観を尊重しながら出口をサポート。

# 町役場・町社協らによるケース検討会議

## 町役場

- ①福祉課
  - 社会福祉係
  - 児童福祉係
- ②高齢者支援課
  - 包括支援センター
- ③町民保健課
  - 健康管理センター

## 社会福祉協議会

- ①地域福祉係
- ②障害基幹センター
- ③生活支援コーディネーター
- ④コミュニティデザイナー
- ⑤どうぞ便コーディネーター

# 町役場・町社協らによるケース検討会議

それぞれに共通するのは、  
困り感を抱えた親子の事例

# 町役場・町社協らによるケース検討会議



みまたん宅食どうぞ便  
を通じて実現したいこと

どうぞ便を実践していくなかで、  
家庭や子供の変化を実感できたケースがありました。

一方で、個別の支援に介入したくても  
介入できなかったケースもありました。

しかし、この取り組みをおこなうなかで、  
少しずつ外から見えない“**つらい**”を  
発見できているような気がしています。

これからその“**つらい**”の出口を  
「親子と一緒にになって探していく。」  
そんなことができればと思っています。

# みまたん宅食どうぞ便 密着取材記事はこちら:



## 食品が届くまで

みんなが無理なく、ちょっとずつ。

多彩な地域プレイヤーが連携する新規事業【みまたん宅食どうぞ便】



## 支援・相談を届けるまで

「外から見えない”つらい”を見つけたい」

難題に立ち向かうアウトリーチの最前線【みまたん宅食どうぞ便】



## アウトリーチ型事業の分析

こども宅食で「見えない”つらい”を発見する」には何が必要か？

NPO法人OVAの先行研究に学ぶ